

回数 散布量	散布時期	基準薬剤
1 250ℓ	発芽前	マシン油乳剤加用 トップジンM水和剤 1000倍 又はベンレート水和剤 2000倍 又はベフラン液剤 1000倍

昭和60年の防除暦(一部抜粋)

1 250ℓ	ふじ、デリの芽出当時 (発芽8~9期)	マシン油乳剤(97) 100倍加用 ベフラン液剤 1000倍
2	ふじ、デリの芽出10日後	ハマキムシ防除剤加用 スパットサイド水和剤 1000倍 又はダコニール水和剤 500倍 又はベフラン液剤 1000倍

昭和62年の防除暦(一部抜粋)

11 600ℓ	8月上旬	ハマキムシ防除剤加用 有機銅剤 又は有機銅・キャプタン剤 500倍 又はアントラコール水和剤 500倍 又はアリエッティC水和剤 800倍 又はベフラン液剤 1500倍
12 600ℓ	8月中旬	ポリオキシソリンAL水和剤 1000倍 } 加用 又はロプラール水和剤 1200倍 } 有機銅剤 又は有機銅・キャプタン剤 500倍 又はアリエッティC水和剤 800倍 又はチウラム・ジラム剤 600倍 又はベフラン液剤 1500倍
13 600ℓ	8月下旬	有機銅剤 又は有機銅・キャプタン剤 500倍 又はアリエッティC水和剤 800倍 又はチウラム・ジラム剤 600倍 又はベフラン液剤 1500倍

昭和64年(平成元年)の防除暦(一部抜粋)

8 500ℓ	落花30日後	クレフノン 100倍加用 有機銅又は有機銅キャプタン剤
9 600ℓ	6月下旬	クレフノン 100倍 } 加用 ダニ剤 } サリチオン(津軽) } 有機銅又は有機銅キャプタン剤
10 600ℓ	7月上旬	ハマキムシ防除剤(南部)加用 有機銅又は有機銅キャプタン剤
11 600ℓ	7月中旬	有機銅又は有機銅キャプタン剤
12 600ℓ	7月下旬	コナカイガラムシ防除剤加用 有機銅又は有機銅キャプタン剤
13 600ℓ	8月上旬	サリチオン加用 モノックス 600倍又は 有機銅又は有機銅キャプタン剤
14 600ℓ	8月20日頃	モノックス 600倍又は 有機銅又は有機銅キャプタン剤

昭和48年の防除暦(一部抜粋)

りんご病害虫防除暦で、有機銅剤は昭和48年から夏場の防除剤として、ベフラン液剤は昭和60年に「発芽前」に採用以来、昭和62年に「ふじ、デリの芽出当時」、「ふじ、デリの芽出10日後」、昭和64年(平成元年)に「8月上旬」、「8月中旬」、「8月下旬」と散布する場面が増えていきました。しかし、この度の農薬の再評価(※)によりこれら2剤が令和8年のりんご病害虫防除暦から姿を消すこととなりました。

**※農薬の再評価**  
改正農薬取締法(2018年12月1日施行)において、全ての農薬について、定期的に、最新の科学的知見に基づき安全性等の再評価を行う仕組み。

使い慣れた剤が無くなることから今後の病害防除は的確でより丁寧な散布が肝要になるかと思えます。

ベフラン液剤と有機銅剤が防除暦から消える



125年生の国光(雪の下)

No. 110  
2025. 12. 10

今年も海外から多くの方々が来所されました



(国旗は外務省HPから引用)

- ・ 9月11日、慶尚北道地方議会農林水産委員会(韓国)
- ・ 9月25日、サンジョアキン農協(ブラジル)
- ・ 10月20日、りんご・なし協会(オーストラリア)
- ・ 10月30日、りんご・なし協会(ニュージーランド)
- ・ 11月28日、Plant&Food Research(ニュージーランド)

10月20日に来所した、オーストラリアりんご・なし協会(APAL)との意見交換では、APALの組織体制や業務内容に関する質疑応答が活発でした。中でも、Twenty°(トゥエンティ・ディグリーズ)の取り組みは、本県(日本)が参考にすべき点が多いと感じました。

ちなみにAPALが栽培に関する権利を持つリンゴ「Pink Lady®」は、生産量70万トン(世界全体)、100か国以上で商標登録されている世界最大の生鮮農産物のブランドです。

APAL: オーストラリアのりんご・なし生産者の代表で、オーストラリアを代表する生鮮農産物の業界団体。

Twenty°: ブランド、知的財産権、商業的権益のポートフォリオを管理し、子会社とビジネスパートナーシップからなる国際ネットワークを通じた経営を行い、サプライチェーン全体を管理しているグローバルな生鮮食品マーケティング企業。



作業風景



献上品の「ふじ」と「王林」

♡ 献上りんご ♡  
12月2日(火)、本年で81回目となる献上りんご「ふじ」と「王林」の選果・梱包作業を行いました。揃いのかすりを着た作業員がガーズで1個1個丁寧に磨き上げたあと、薄葉紙に包み、フルーツキャップを被せたくて箱詰めしました。  
献上先は、天皇皇后両陛下、上皇 上皇后両陛下、秋篠宮皇嗣殿下、常陸宮殿下、三笠宮寛仁親王妃殿下、彬子女王殿下、高円宮妃殿下です。



【病害虫管理部】苗木を掘り上げ根頭がんしゅ病の調査をしています。



【栽培部】高密度植栽培の収穫作業時間を計測しています。(左：細がた紡錘形(対照)、右：トールスピンドル)



☆各部の晩秋から初冬にかけての作業の様子をご紹介します。



【病害虫管理部】アシガヤ内のマメコバチの営巣状況を調べ選別しています。



【品種開発部】系統(新品種の候補たち)の苗木の葉を取ったあと、掘り上げて冷蔵施設へ搬入します。



【編集後記】  
豪雪から始まり、高温・干ばつと大変な年でした。職員の皆様お疲れ様でした。(E)



【県南果樹部】落葉期、ブドウの剪定を行いました。県南地方は積雪が少ないため「スチューベン」は眠り病対策(防寒資材で主枝等を被覆)が必須です。